

高規格幹線道路（事業中の路線）

■ 中部横断自動車道

中部横断自動車道は、静岡県静岡市を起点として、山梨県甲斐市を經由し小諸市に至る延長約 132km（うち県内約 50km）の高速自動車国道です。

新東名高速道路、中央自動車道及び上信越自動車道を相互に連絡して高速交通ネットワークを形成し、太平洋や日本海の臨海地域を含む沿線地域間の連携・交流の促進、広域観光圏の形成による観光振興や、災害時の代替性確保などへの効果が期待されています。

県内では、平成 23 年 3 月に佐久南 IC ～佐久小諸 JCT 間が、平成 30 年 4 月には八千穂高原 IC ～佐久南 IC 間がそれぞれ開通しました。唯一の未整備区間となっている山梨県長坂 JCT（仮称）～長野県八千穂高原 IC 間は、現在、長野県と山梨県が環境影響評価及び都市計画の手続きを進めています。



八千穂高原 IC 付近

■ 三遠南信自動車道

三遠南信自動車道は、飯田市を起点として、愛知県東部を經由し静岡県浜松市に至る延長約 100km（うち県内約 50km）の一般国道自動車専用道路（国道 474 号）です。

中央自動車道、新東名高速道路を相互に連絡して高速交通ネットワークを形成し、南信州と東三河・遠州地域の結びつきをさらに深め、産業、観光の振興や災害時の代替性確保などへの効果が期待されています。

県内では、飯田市内を横断する飯橋道路と、静岡県境の青崩峠道路で工事が進められています。飯橋道路は、平成 20 年 4 月に飯田山本 IC ～天龍峡 IC 間が、平成 30 年 3 月に龍江 IC ～飯田上久堅・喬木富田 IC 間が、令和元年 11 月に天竜峡 IC ～龍江 IC 間がそれぞれ開通し、残る区間でも工事が進められています。青崩峠道路は、令和 7 年 3 月に青崩峠トンネル（仮称）本坑が完成するなど、一日も早い開通に向け工事が進められています。



青崩峠トンネル（仮称）本坑完成式

■ 中部縦貫自動車道

中部縦貫自動車道は、松本市を起点として、岐阜県高山市を經由し福井県福井市に至る延長約 160km（うち県内約 35km）の一般国道自動車専用道路（国道 158 号）です。

長野自動車道、東海北陸自動車道及び北陸自動車道を相互に連絡して高速交通ネットワークを形成し、広域観光圏の形成による観光振興や、物流確保、災害時の代替性確保などへの効果が期待されています。

現在、長野自動車道の松本 JCT（仮称）から松本市波田地区へ至る松本波田道路の整備が進められています。



扇子田公園付近橋梁工事写真

■ スマート IC

長野県内では、小布施スマート IC、姨捨スマート IC、佐久平スマート IC、梓川スマート IC、小黒川スマート IC、駒ヶ岳スマート IC、座光寺スマート IC 及び筑北スマート IC の 8ヶ所が供用されています。これらに加え、諏訪湖スマート IC が岡谷市・諏訪市及び NEXCO 中日本により、若穂スマート IC（仮称）が長野市と NEXCO 東日本により、屋代スマート IC（仮称）が千曲市と NEXCO 東日本により、整備が進められています。

●長野県内のスマート IC の概要

スマート IC	設置箇所	所在地	現在の状況	IC 形式	
小布施 SIC	上信越道	小布施 PA	小布施町	供用 (H18.10.1～)	フル IC
姨捨 SIC	長野道	姨捨 SA	千曲市	供用 (H18.10.1～)	松本方面・ON 長野方面・OFF
佐久平 SIC	上信越道	佐久平 PA	佐久市	供用 (H19.4.1～)	フル IC
梓川 SIC	長野道	梓川 SA	松本市 安曇野市	供用 (H22.11.27～)	フル IC
小黒川 SIC	中央道	小黒川 PA	伊那市	供用 (H29.9.30～)	フル IC
駒ヶ岳 SIC	中央道	駒ヶ岳 SA	駒ヶ根市	供用 (H30.3.17～)	フル IC
座光寺 SIC	中央道	座光寺 PA	飯田市	供用 (R3.3.28～)	フル IC
筑北 SIC	長野道	筑北	筑北村	供用 (R5.12.17～)	フル IC
諏訪湖 SIC	中央道	諏訪湖 SA	岡谷市、諏訪市	令和 7 年度供用予定	フル IC
若穂 SIC（仮称）	上信越道	若穂	長野市	事業中	フル IC
屋代 SIC（仮称）	上信越道	屋代	千曲市	事業中	フル IC

■ 筑北スマート IC



令和 5 年 12 月供用開始

■ 諏訪湖スマート IC



令和 7 年 7 月供用予定